

## 開催報告

## 第25回日本医療マネジメント学会学術総会

## 第25回日本医療マネジメント学会学術総会

会長 山本 登

(横浜メディカルグループ菊名記念病院理事長)

第25回日本医療マネジメント学会学術総会を2023年6月23日(金)・24日(土)に、パシフィコ横浜で開催いたしました。会場に4000名を超える皆様にお越しいただき、オンデマンド配信も併せて4200名以上の方にご参加いただくことができました。心より御礼申し上げます。

神奈川県横浜市での開催は実に2006年以来、17年ぶりの開催でした。新型コロナウイルス感染症は5類感染症に移行したものの、未だに終息していない状況であり、会場内ではマスク着用の上でご参加いただくなど参加者の皆様にもご協力をいただきました。

会場となるパシフィコ横浜は海に面した会場であり、あいにくの梅雨空で、時折雨が降ることもありました。眼下に広がる横浜港の風景を皆様にお楽しみいただけたことと思います。

さて、第25回学術総会のテーマは、『病院医療の展望』～「パンデミック・災害とBCP」から「求められる医療へ」～とし、さまざまなプログラムを企画いたしました。

基調講演、会長講演、招待講演3題、特別講演4題、教育講演3題、教育セミナー2題に加え、メインシンポジウムのほかにシンポジウムを13題、会長特別企画、特別シンポジウムを組み入れました。また、コロナ禍で3年間開催できなかった市民公開講座も無事に実施することができました。

10会場とポスター会場にて行われた一般演題には口述678題、ポスター162題、クリティカルパス展示5題の合計845題が発表され、会場によっては立ち見が出るほどの盛況ぶりで活発な意見交換がなされました。「医療安全」や「病院運営」のセッションには多くの演題発表が行われ、また昨今、各病院にて取り組まれている「タスクシフト・タスクシェア」のセッションにも多くの演者の皆様により、日頃の成果が報告されました。

6月23日(金)の開会式には、神奈川県黒岩県知事ならびに山中横浜市長にご臨席いただき、祝辞を賜りまし



開会式 会長挨拶

た。3年間にわたるコロナ禍において最前線で奮闘した医療従事者にエールをいただくと共に、医療の質向上に向けた活発な議論が展開されることを大いに期待するとお言葉を頂戴しました。

開会式の後は、宮崎久義理事長による基調講演が行われました。「医療・介護・福祉のマネジメントを考えるー学会活動からー」と題し、25回の本学会の歴史を振り返りつつ、かねてより現場からの情報発信を重視してきたことや各都道府県支部における活動と共に今後の展望をお話いただきました。

これより、各会場にて開催された各種講演やシンポジウムの様子をご紹介します。

23日の午後には、本学術総会会長の山本より会長講演「病院医療の展望」についてお話しさせていただきました。日本の医療の歴史を古代から近年に至るまで人口推移と共に解説し、「超高齢社会となったこれからの日本の医療においては自分たちのやりたい医療を推し進めるのではなく、収めるところは収めて自らを改革していかなければ病院医療を支えることはできない」と述べさせていただきました。そして、各セッションでは、医療提供側と受療側の両方が満足し、さらに社会経済上の合理性や発展性が伴う『三方よし』を模索するような議論を期待したいと希望を述べました。

招待講演1では、日本宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授の的川泰宣先生にご登壇いただき、「『挑む』目標から『生きる』世界へー宇宙活動の新時代ー」をテーマにお話しいただきました。

宇宙というものを人類が認識してから、月面着陸に至るまでの歴史と民間人が宇宙に行くような時代の到来ならびに今後の宇宙計画の展望をご講演いただきました。最後に「宇宙から見れば地球には国境も何もない、世界中の人と手を携えて戦争のない平和な未来を作りましょう」というメッセージをいただきました。

招待講演2では、恩師上野動物園園長の福田 豊先生に「恩賜上野動物園におけるジャイアントパンダの飼育と繁殖について」と題し、ご講演をいただきました。ジャイアントパンダが日本に来て50年になりますが、飼育や繁殖には数々の苦労があったそうです。繁殖のため各データを活用してタイミングを逃さず交配し、誕生した命は多くのスタッフによって守られていることを詳述していただきました。医療と同じくチームの総合力が試されるというお話はおおいに共感いたしました。

招待講演3では、NHK筋肉体操でもご活躍中の順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科先任准教授の谷本道哉先生に「人生110年時代を目指す～たのしく